

第1地域 RRFC 便り 1月号



2022年1月1日発行

皆さまからのご支援のおかげで

ロータリー財団と共に
「世界でよいこと」を
ありがとうございます



新年号

この号の内容

- 1 皆さまからのご支援のおかげで
- 2 グローバル補助金
ベトナム教育支援 オンラインテ
スト会議
- 3 ロータリーの未来
に不可欠なのは
「成長」
- 4 適応力であなた
のRYLAを創造す
る
- 5 「活動支援の記録」
にご協力ください】
- 6 PHS 認証式(入会
式)のご案内
- 7 正月を祝う子規の
句と絵

「世界でよいこと」を可能とする寄付者の皆さまに、心から御礼申し上げます。皆さまのおかげで、ロータリー財団は、持続可能な意義あるプロジェクトを通じ、人びとの生活をより良くするために行動する人たちを支えてきました。

皆さまからのご支援のおかげで、今年私たちは素晴らしいことを達成しました。[ポリオ](#)や[新型コロナ](#)といった疾病に対応し、地域社会の安全を守るための支援を行いました。ロータリー会員はまた、環境保護のための[プロジェクト](#)を実施して、新しい重点分野を支援しました。さらに、アフリカで[新しい平和センター](#)を開設し、平和と紛争予防の分野でのリーダー育成が強化されました。

皆さまからのご寄付は、単なる資金ではありません。平和、健康、支援を必要とする人たちへの機会がもたらされるのです。

奉仕活動やロータリー財団への皆さまのご支援によって、これらの活動が可能となります。

地元や海外の地域社会に末永い変化をもたらすための皆さまのご支援に、心より御礼申し上げます。

心を込めて
ロータリー財団

【グローバル補助金 ベトナム教育支援 オンラインテスト会議】

2021年12月22日 14:00-15:00(日本時間)、3340 地区(タイ東北:提唱地区)、2510 地区(北海道西部:支援地区)、実施地域のベトナムの学校関係者と生徒達が「オンライン教育支援」の「グローバル補助金事業」について、Zoom 会議を実施しました。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、事業が一時中断していましたが、この度教育支援オンラインシステムの設置が開始され、実際にそのシステムを利用し会議が開催されました。

ロータリーのないベトナムでの事業ということで、ロータリーが「平和の推進」を目的としていること、「教育の支援」に力を入れていること等も議題となりました。今後小学生～高校生までの 5,000 人の生徒達がこの教育システム開始して行きます。ベトナムの職業訓練生の通訳で会議が行われましたが、今後は英語のオンライン教育等も実施され、通訳なしで英語によりこの会議が行われる日が来ることを、心より楽しみにしております。(以下はその時の ZOOM 会議の様子です)(羽部記)



【ロータリーの未来に不可欠なのは「成長」】



成長とは、あらゆるものに起こる自然現象であり、生きていることの唯一の証でもあります。アメリカのビジネスマンで、ファイアストーンタイヤ・アンド・ラバー社の創業者であるハーベイ・ファイアストーンは、かつてこう言いました。「成長と人材育成こそ、リーダーの最も重要な使命である」これはロータリーにも当てはまります。過去 20 年間、会員数は 120 万人にとどまっております。今こそ会員を増やして成長を遂げるときであると私は考えます。12 カ月間で 130 万人へと成長するのは大胆な目標だと思われるかもしれませんが、「Each One, Bring One」(みんなが一人を入会させよう)に取り組めば十分に可能なことです。

ロータリーへの入会は「最高の贈り物」

私にとって、ロータリーに入会できたことは人生を変えるほどの最高の贈り物であり、私を推薦してくれたチタランジャン・チョードリーさんにとっても感謝しています。ロータリーに入会したことで、無数の機会への扉が開かれました。友人をつくる機会、リーダーシップを発揮する機会、奉仕する機会、寄付する機会。これらは私の人生に大きく影響し、私にとって奉仕が生き方となりました。私は、「奉仕とは、自分がこの地球上に借りている場所に対して支払う地代」という信条を持ち続けています。



＜シェカール・メータ国際ロータリー会長＞

SERVE TO CHANGE LIVES

この贈り物がいかに貴重なものであるかを実感した私は、ロータリアンとしての 36 年間、この贈り物をほかの人たちとシェアしたいと願い、複数のクラブに 50 名以上の入会者を紹介してきました。その多くがロータリーのシニアリーダーとなり、「みんなの人生を豊かにするために」に奉仕しています。

多様性、公平さ、インクルージョン 新会員を募る際には、ロータリーの中核的価値観の一つが「多様性」であることを忘れてはなりません。事実、ロータリーの多様な会員基盤に目を向けると、肌の色、宗教、性的指向など、多種多様な会員がいることがわかります。ロータリアンである私たちは、この多様性を受け入れてきました。入会への関心を高めるには、公平さを確保する必要があります。つまり、すべての人を公平に扱い、平等を尊重し、多様性とインクルージョン(包摂)を重視していく必要があります。このアプローチにより、誰もが所属感を抱き、すべての人が平等であるとみなされ、かつ平等な機会が与えられる環境がつくられます。また、多様性を支えるために必要なインクルーシブ(包摂的)な文化が生まれます。インクルージョンとは、開放的となり、誰もが大切にされ、歓迎され、機会が与えられる環境を築くことを意味します。

ロータリー奉仕デー 私は、世界でロータリーの奉仕プロジェクト数が最も多い地域の出身です。そこには数多くのニーズが存在し、ロータリアンがこれらのニーズに取り組む機会も多くあります。こうした活動を人びとに紹介すると、地域社会のニーズを解決するために[行動したい](#)と望む人々からのロータリー入会への問い合わせが増えます。私のクラブで「Little Heart Surgery」(小さな心臓の手術)という活動を実施したとき、これに多くの人が感動し、3 人から入会の問い合わせがあり、そのうち 2 人が入会しました。「ロータリー奉仕デー」の実施は、ロータリークラブが地域社会の人びとに活動を見ていただく素晴らしいチャンスとなります。地元や海外での奉仕活動を紹介するイベントでもよいですし、バーチャルな方法を駆使することもできます。奉仕活動に関するセミナーや認識向上キャンペーンもよいでしょう。

表彰／認証 ロータリアンの活動を表彰することは、モチベーションを維持するための効果的な方法です。ロータリー財団への寄付に対しては、既に素晴らしい認証プログラムが存在します。これを踏まえ、会員基盤の成長に尽力したロータリアンを表彰するために、新会員推薦者を対象とする[メンバーシップ・ソサエティ](#)を導入しました。バーチャルのプラットフォームを採用し、ロータリーに 25 名以上の新会員を推薦した世界中のロータリアンのお名前を紹介しています。いくつかの認証レベルがあり、詳しくは My ROTARY からご覧いただけます。

会長の[フェイスブック](#)と[ツイッター](#)、ならびに My ROTARY の[会長のページ](#)もぜひご覧ください。

【適応力であなたの RYLA を創造する】



＜寄稿者：カレン C.ローブ米国コロラド州のロータリー会員＞

ロータリーで最近、「多様性、公平さ、インクルージョン」(DEI)という言葉をよく耳にします。DEI と聞いて、RYLA(ロータリー青少年指導者養成プログラム)を思い浮かべる人はいないかもしれませんが、RYLA でも DEI を強化することができます。第 5450 地区(米国コロラド州)では、「RYLA プラス」と銘打った、障がいのある青少年を対象とする活動を行っており、障がい者支援団体 Easterseals Colorado との提携の下、障がい者法に準拠した施設でユニークなプログラムを開催しています。参加者のニーズをサポートするため、訓練された医療スタッフとカウンセラーが配置されています。「1 週間でうちの子に何をしたの?」と言う保護者もいますが、それは参加者のポジティブな変化を目の当たりにし、誇りをもってそういってるのです。

個人的な動機

私たちがロータリーで行うことの多くは、個人的な動機から始まります。私は、姉が交通事故で両足を切断したことをきっかけに、大学で障がい者と協力するようになりました。水泳を習って自信をつけた学生たちを見て、自分も人を助けることでインパクトをもたらせることを実感しました。だから、私のロータリークラブが新しいプロジェクトを検討していたとき、私はすぐに、身体障がいのある若者を対象とした RYLA プログラムの実施に取り組みました。意外なことに、Easterseals Colorado とロータリーと間には、素晴らしい歴史的つながりがあることも知りました。Easterseals Colorado 創設者のロータリアン、エドガー・アレンは、ポール・ハリスの親しい友人だったのです。

周到な準備

これを実現するためのステップとして、参加者のニーズに合わせた調整を行う必要がありました。参加者を募集するための学校やクリニックとの関係構築、キャンプへの無料参加を可能にするための複数クラブからの資金調達、ロータリアンと青年のカウンセラーの確保などです。起草から 8 年、これまでに 7 回の対面式キャンプを開催し、大きな成功を収めてきました。これは、周到な準備と適応力、そして参加者や保護者からの信頼があったから実現したことです。

多くを学ぶ参加者

参加者は新しい友人を作るだけでなく、歓迎されていることを実感でき、万全の受入態勢の中でキャンプを体験できます。かつてのキャンプ参加者がジュニアカウンセラーとなり、運営を手伝ったり、報告会をリードしたりする姿も見られます。また、自らの障がいを克服してスポーツや組織で成功を収め、社会に貢献している講演者から刺激を受けることができます。参加者は、問題解決、チームワーク、そして物理的なチャレンジ(クライミングウォールやジップライン)の克服について学びます。チャレンジに挑む参加者には皆で拍手を送ります。キャンプ修了者は、パラアイスホッケーの全米代表チームに入ったり、毎週授業でプレゼンテーションを行うクラスに入学したり、大学を卒業したりと、自信と新たな挑戦への意欲を高めています。保護者からも、参加者がより自立し、自分で目標を立てるようになったとの報告を受けています。何よりも嬉しいのは、多くの参加者が翌年もジュニアカウンセラーとして参加し、リーダーシップのスキルをさらに高めると同時に、自分と同じような人が充実した経験を得られるよう手助けをしてくれることです。

スペシャルな RYLA を創造しよう

私の夢は、RYLA プラスが世界中のロータリーで再現されるようになることです。皆さんの地元で Easterseals Colorado のような施設がない場合は、障がい者のためにどのようなリソースが利用できるかを詳しく調べてみてください。RYLA プラスのような活動のほかにも、若者のためにインクルーシブな活動を行う方法があります。既存の RYLA プログラムをアレンジして、さまざまなニーズのある人や、多様な背景、ジェンダー、性的指向の人などを受け入れる方法を考えましょう。地域社会のニーズや課題を検討し、公平さを高める体験を企画しましょう。計画委員会、参加者、ボランティアについて検討する際は、奉仕するコミュニティの多様性を反映させましょう。何をやるにしても、皆さんには人びとの生活を変える力があることをご理解ください。どのような経験をされるにしても、それはロータリーでの最高の経験となるでしょう。

RYLA プラスに関するご質問は、kcloeb@gmail.com までご連絡ください。

【ポリオ根絶へのコミットメントを世界に示すため、皆さまのクラブにおける「活動支援の記録」にご協力ください】



世界ポリオデー 行動しよう

endpolio.org/ja | [#endpolio](https://twitter.com/endpolio)

Rotary 

**END
POLIO
NOW**

10 月 24 日は「世界ポリオデー」です。皆さまのクラブにおけるポリオ根絶へのコミットメントを世界に示すため、活動その他の支援の記録にご協力ください。

これにより、何十年も前にロータリーが行ったポリオ根絶の誓いに現在も会員が熱意をもち、行動していることを伝え、ポリオ根絶の重要性への認識を高めることができます。

こちらからご入力いただけます：www.endpolio.org/ja/register-your-event *
(入力時にエラーが生じる場合は[英語のページ](#)でお試ください)

本フォームは、過去の年度と比べて簡単かつ短時間で入力できます。本フォームへの入力のほかに、クラブのご活動について詳しく報告することを希望される場合は、ロータリーショーケースにご掲載ください([掲載方法](#))。ショーケースでは、過去のプロジェクトと実施予定のプロジェクトを掲載できます。

募金活動、ご寄付、イベントのほか、次のような活動もポリオ支援活動となります。

- ・ **ポリオ会議**: 医師や保健専門家を招き、ポリオに関するプレゼンテーションやパネルディスカッションを行う。
- ・ **クラブウェブサイトでの掲載**: ポリオ関連の記事やポスターをクラブのウェブサイトに掲載して認識の向上を図る。
- ・ **クラブ例会での発表**: 世界ポリオデーがある 10 月中の例会で、ポリオ関連の卓話や情報提供を行う。
- ・ **END POLIO NOW の T シャツ**: ポリオ根絶活動の T シャツを着てクラブの活動を行い、写真を撮影したらシェアして認識向上につなげる。
- ・ **昼食会・夕食会**: イベント中にポリオについての情報提供を行い、参加費用をポリオへの寄付に充てる(または募金箱を設置)。
- ・ **ソーシャルメディア・キャンペーン**: ローターアクトクラブやインターアクトクラブと協力して、ポリオとの闘いにおけるロータリーの役割をアピールする。
- ・ **地区のポリオ根絶イニシアチブへの参加**: 地区が主催する各種活動に貢献・参加する。

ポリオ根絶支援サイトの「[リソース](#)」ページでは、クラブのご活動で使用できるさまざまなリソースをダウンロードできます。

子どもたちをポリオから守っていくために、ご協力を何卒お願いいたします。



【PHS 認証式(入会式)のご案内】

日時: 2022 年 4 月 23 日(土)前夜祭 18 時(17 時集合)

4 月 24 日(日)認証式 11 時(開宴)

場所: 前夜祭 札幌ビール園(札幌市東区) 認証式 プレミアホテル TSUBAKI

会費: 前夜祭と認証式で 1 万 5 千円

宿泊: プレミアホテル TSUBAKI 札幌

〒062-0904 札幌市豊平区豊平 4 条 1 丁目 1-1 TEL (011-821-1111) FAX (011-842-6654)

宿泊代:14.000 円(一人朝食付き)

【正月を祝う子規の句と絵】



年玉を 並べて置くや 枕もと

正岡子規は、36歳でその生涯を閉じて逝ったのです。今回紹介する句は子規が亡くなる1年8ヶ月前の正月に詠んだとされる句です。

既に身体は病に侵され動くことも儘ならない状況であったと思われます。

しかし、新春を迎えて友や弟子が年賀に訪れることを楽しみにしていた様子が伝わってきます。子規の残した日記には部屋の様子が描かれています。枕元には小さな木箱がありそこに句集や紙などが入れてあったようです。この頃子規の側で世話をしていたのが寒川鼠骨さむかわ そこつでした。鼠骨は子規と同じ松山の同郷で、碧梧桐や虚子とは子規の下宿で暮らしたことも伝わっています。

お年玉には多くの思い出があります。枕元に並べたお年玉、そのお年玉で子供たちが何を買おうと思いつきながら布団の中に入る情景が目には浮かびます。子規34歳の正月の背景はどのようなものであったのでしょうか。子規が弟子の鼠骨から贈られた「地球儀」の話が伝わっています。「人は物を贈りたるこそ、贈りたる者は気安くして贈られたる者は興深けれ。今年の年玉とて鼠骨のもたせしは何々ぞ。三寸の地球儀、大黒のはがきさし、夷子の絵はがき、千人童子の図、八幡太郎一代記の絵草紙など、いとめずらし。」

弟子の寒川鼠骨さむかわ そこつから直径3寸の地球儀を贈ってもらったことを記して「これ我が病室の蓬莱なり」と喜んでいました。

それは地球儀を見ながら世界一周の旅を楽しんでいたに違いありません。昔従軍の記者として中国に渡ったことも懐かしい思い出になったことでしょうか。漱石がイギリスに留学したことを想いながら地球儀を回しながらここがイギリスか、随分遠いところだと思ったのでしょうか。

さて今月の『年玉を 並べて置くや 枕もと』ですが、自分は身動きが出来ないが、尋ねてくれる弟子のために準備をして、その日を待ち望んでいたことが伺えます。令和4年お正月に孫へのお年玉は幾らにしましょうか。

(羽部記)